

2017年 冬 東芝ストア一販促情報便！

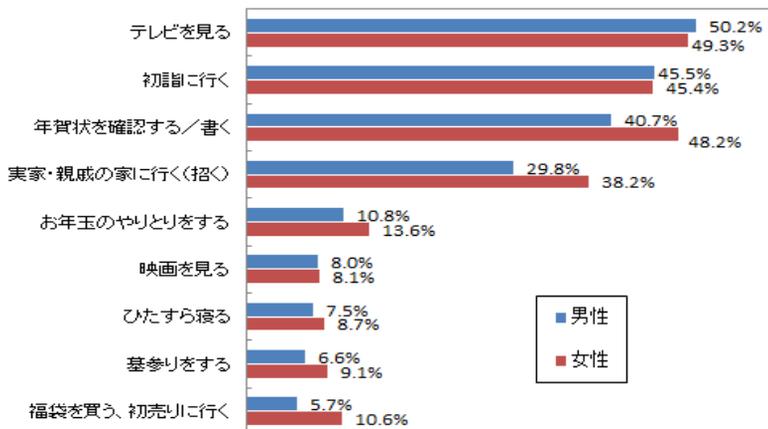
発行日:2017年 1月25日

東芝会事務局
 <東芝コンシューママーケティング(株)
 地域店営業部内>

お正月の過ごし方、1位は「テレビ」。

@niftyが運営するアンケートサイト「何でも調査団」が2016年12月、全国の会員男女2,876人に行った「お正月の過ごし方アンケート調査」によると、2016年～2017年にかけてのお正月は「テレビを見る」と答えた人が最も多く、次に「初詣に行く」という結果になりました。2014年に行った調査でも昨今では友人やカップ

■お正月はどのように過ごしますか？（複数回答）



ルで旅行に行ったり初詣に行くなどの過ごし方が増えていると言われてはいますが、全体的に見るとやはりお正月はテレビを見る過ごし方が多いことがわかります。

東芝では、より美しく臨場感あふれる映像美を追求したテレビの新製品を発売します。

※@nifty 何でも調査団 2016年12月「お正月の過ごし方アンケート調査」N2,876

東芝商品情報

4K有機ELレグザ「X910シリーズ」及び 4K液晶レグザ「Z810Xシリーズ」の発売について

◆4K有機ELレグザ「X910シリーズ」



東芝は、4K有機ELパネルと自社開発の専用映像処理エンジンを採用し、高いピーク輝度と濃密な黒の高いコントラストでクリアな臨場感あふれる映像美を実現したレグザ初の4K有機ELテレビ「X910シリーズ」2機種を3月上旬から発売します。また、ハイエンド4K液晶レグザの新製品としてひと肌の質感を美しくリアルに再現するとともに地上デジタル放送などで発生するノイズを抑えクリアな高画質を実現した「Z810Xシリーズ」3機種を2月上旬から発売します。「X910シリーズ」では自社開発の映像処理エンジン「OLEDレグザエンジン BeautyPRO」を搭載し、新開発の高コントラスト復元技術や熟成超解像技術などにより、特に映画やライブ映像などの高いクオリティの映像を臨場感あふれる高画質に映し出すことができます。「Z810Xシリーズ」では肌の質感を美しくリアルに表現する「美肌リアライザー」を搭載するとともに、LEDを液晶パネルの背面全体に配置した「全面直下LEDバックライト」と、LEDの点灯値を従来の2倍のきめ細かさで制御する新開発の「直下型LEDハイブリッドエリアコントロール」により、暗部の輝度を緻密にコントロールすることで、高いピーク輝度とともに、引き締まった黒の中野わずかな輝度のちがいまでも再現します。詳細はこちらでご確認下さい <http://www.toshiba.co.jp/regza/>

◆4K液晶レグザ「Z810Xシリーズ」



ひと肌の質感を美しくリアルに再現する「美肌リアライザー」

明るいシーンでの顔のハイライト部分の色飽和を抑え、諧調をきめ細やかに描き出すことで、肌の質感をよりリアルに表現します。

美肌リアライザー

- 肌の色の輝度ヒストグラムを解析
- 顔の最も明部が映像の最大輝度かをチェック
- 階調特性を制御



白くとびがち部分もしっかり描写し、肌の質感と立体感がある描写に。

従来の映像を高コントラストに復元する「AI機械学習HDR復元」

従来編集とHDR編集の映像素材を多数比較し、AI機械学習技術で適切な復元テーブルを作成することで、HDR映像ではない従来の映像を高精度に高コントラスト画質に復元します。ブルーレイディスクや地上デジタル放送などのさまざまな映像を高コントラストでリアルに再現します。

映画をさらにリアルに、より美しく再現する「熟成超解像」

映画などの24フレーム/秒の映像に対し、超解像処理とノイズリダクションをそれぞれ2回行い、クリアで精細感ある映像を再現します。

商品名	シリーズ	型名	画面サイズ
4K有機ELレグザ	X910	65X910	65V型
		55X910	55V型
4K液晶レグザ	Z810X	65Z810X	65V型
		58Z810X	58V型
		50Z810X	50V型